

緑ヶ丘通信

不審者対応教室実施

5月19日(木)6校時目に、第1回不審者対応教室を行いました。今年は、突然の侵入でも、初期対応の手順にそって安全な避難ができるかどうか、確認するため、不審者がどの教室にどこから侵入するか生徒にも先生方にも知らせずに実施してみました。市川先生が不審者役になって、1の4教室に侵入し、さらに3の4まで侵入しました。突然警報ブザーをならしての訓練に、生徒も真剣に参加しましたが、逃げるのに時間がかかりすぎるなど課題も見つかりました。訓練後、教頭先生から緊急時の行動について話がありました。



また、不審者から身を守るための実技を学習しました。郡山警察署の杉内さんと県警スクールサポーターの斎藤さんにおいでいただき、具体的に不審者に手を握られたり、抱きつかれたときどのように対処すればよいかを学びました。また、携帯電話の危険性についてもお話していただきました。

窓を開放したときの教室内の空間放射線量について

調査日時：5月18日(水)3校時と5校時に、それぞれ3階の普通教室(現在空き教室)と1階の美術室の窓を開放して、空間放射線量がどのくらい変化するのか測定してみました。

まず、3階の普通教室ですが、3校時にベランダ側を全開し、廊下側出入口を開放して測定しました。風速は北西7.9mです。その後、5校時目に1階美術室の南北の窓を全開して測定しました。風速は2.6mです。(グラフはそれぞれ、窓から2mと4m離れたところでの測定値)

グラフ(略)

測定結果は、グラフのとおりでした。

今のところほこりが舞い上がるような強風でなければ、窓を開けても放射線量はあまりかわらないようです。今後、だんだん暑くなってくることが予想されます。来週には衣更えの準備もはじまりますが、快適な学習環境を作るためにも、外の状況を見ながら、必要に応じて換気もしていきたいと思えます。なお、5月19日の福島民友ニュースでは、県内13市の教育長でつくる県都市教育長協議会で「郡山市は扇風機とよしずの設置を検討していることを明らかにした。」そうです。